

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	移住・定住促進検討事業費				
所管部局	総務部	部局長名	森田 恵介	予算事業名	移住・定住促進事業費
所管部署	移住・定住促進室	所属長名	千光士 義幸	予算事業科目(平成26年度)	010201070485

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け		施策取組方針	都市地域、自然地域それぞれの地域特性を活かすバランスの取れた適正な土地利用を進め、効率的で快適な生活空間の形成に努めます。 特に、中山間地域ゾーンにおいては、集落機能の維持を図るため、遊休地や空き家などの地域資源の活用による定住の促進に取り組むとともに、都市と農山村交流の推進に努めます。また、田園地域ゾーンにおいては、農地の保全や農業振興に努めるとともに、良好な居住環境の確保と適正な土地利用を図りながら、活力のある地域づくりに努めます。
施策の大綱	05 まちの環		
政策	25 美しく快適なまちの形成		
施策	75 バランスの取れた都市の形成		
2 事業の根拠・性格	法定受託事務		
法律・政令・省令			
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他(計画、覚書等)	2011高知市総合計画		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民、市域外の住民等	
意図	どのような状態にしていくのか	移住・定住施策の推進による、移住・交流人口の拡大	
手段	事業実施体制等	庁内プロジェクトチームの設置	
		事業開始年度 平成25年度 事業終了年度 検討事業費はH25年度終了	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	移住・定住施策の推進に向けた方向性の検討、整理	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	県外からの移住者数(組)	2011高知市総合計画第2次実施計画(2014~2016年度)に基づく目標値である累計100組(窓口把握数)
	B		
	C		

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	県外からの移住者数(組)	目標			25組	以降、27年度35組、28年度40組の目標設定。	
		実績						
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)			607	5,864	25年度は、庁内委員による「移住促進検討プロジェクトチーム」を設置し、先進地の事例等を研究し、高知県の動向等を踏まえた本市における移住促進に向けた施策展開の方向性等について検討し、報告書にまとめた。 26年度は、専管部署を設置したことから、移住・定住促進事業費と変更し、情報発信関連事業、移住体験関連事業、よさこい移住プロジェクト等に取り組む。	
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					2,741
			市債(千円)					
			その他(千円)					1,864
			一般財源(千円)	0	0	607		1,259
	翌年度への繰越額(千円)			0				
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	0	1,460	18,000	25年度は、総合政策課が業務の一部として担当。 26年度は、専管部署として移住・定住促進室を設置。	
		正規職員(千円)	0	0	1,460	18,000		
		その他(千円)						
		人役数(人)			0.20	3.50		
		正規職員(人)			0.20	2.50		
		その他(人)				1.00		
総コスト=①+②(千円)	0	0	2,067	23,864				
市民1人当たりコスト(円)	0	0	6		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数(人)	337,875	338,397	336,845					

## 5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

移住・定住促進検討事業に係る成果は、移住促進検討プロジェクトチームにおける検討結果を踏まえ、平成26年度以降移住・定住施策の推進につなげる。  
 移住・定住促進施策というと、本市以外からの移住者のみを対象としたものように考えられているが、移住者には、1ターン者だけでなく、元々は本市民であって県外の大学へ進学したUターン者も含まれており、現在本市にお住まいの方も含めて、今後も住み続けていただけるための定住施策が重要であり、従来行っている事業との関連性も含めて検討していくことが課題である。

## 6 所属長評価

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	今後の本市の人口は、全国的な傾向と同様に減少傾向が続き、生産年齢人口が大幅に減少、高齢化率も大幅に上昇するものと予測されている。 これに伴い、本市の中山間地域以外の地域においては、地域産業・地域経済の停滞や縮小、社会資本の整備・維持の停滞、中山間地域では、第一次産業の衰退と農地や山林の荒廃による環境の悪化、住民自治の崩壊や集落の消滅といった課題の発生が予想される。 このため、これらの諸課題への対応策の一つとして、外部からの人材受け入れによる地域社会、経済の活性化を図ることを目的に、移住促進に取り組む。	
		B (3) 一部結びつく				
		C (1) あまり結びつかない				
		D (0) 結びつかない				
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
		B (3) 横ばいである				
		C (1) 少ない、減少している				
		D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	本市が街と自然が隣り合わせるコンパクトシティであることを移住の魅力を中心に据えて情報展開を行っているが、移住に向けた取組は全国各地で行われており、その中で移住先として選択されるには、移住者のニーズに応えることと共に、その地域の特性や魅力を前面に打ち出した特色ある取組が必要である。そのため、本市の強みである「よさこい祭り」による移住を支援する「よさこい移住プロジェクト」等に取り組む、事業成果の向上につなげる。	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B			
		B (3) 概ね妥当である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	移住希望者等の地域の一番身近な相談役である「地域移住サポーター」等と移住・定住促進において連携している。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A			
		B (3) 概ね効率的にできている				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	3.0	移住希望者のニーズに対応する取組が必要であり、情報発信の充実等による公平性の確保に努める。	
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B			
		B (3) 概ね適正な負担割合である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 検討すべきである				
総合点	16.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)			
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)			
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)			

## 7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	人口が減少する中で、少子高齢化が進行する本市において、取組が必要な事業である。 平成26年度から専管部署を設置し本格的に事業に取り組む体制を整えたところであり、今後「よさこい移住プロジェクト」を中心としながら、事業推進を図っていく。
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

## 8 特記事項

--